

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
6	東京工科大学	国際関係論	落合 浩太郎 教養学環 教授	2	前期	木	14	10:45~12:25	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

【到達目標】

国際的な教養の基礎として、世界の現状を知るために、リベラルと保守、先進国と途上国、自由・民主主義と権威主義といった基礎概念を理解して下さい。さらに、基礎的な指標、世界の国の数や人口（今後の予測を含む）、主要国・地域の人口やGDPも同様です。

グローバリゼーションとは何か、なぜ反発する動きが強まっているのかを理解して下さい。

民主主義の危機、格差、ポピュリズム、気候変動、SDGs、対テロ戦争、デモクラティック・ピース等のキーワードを説明できることを目指します。そして、異なる立場（文化）の間での「対話」を可能する論理的な思考力とコミュニケーション能力を高めます。また、世界の中の日本を意識して国際情勢の解説や他国との比較を行うことで国際的な教養を身に付けます。以上によって、国際的な視点から政治や日本を論じられる社会人となることを目指します。

【授業の概要】

世界は様々な政治体制・民族・宗教の200の国からなります。1990年頃東西冷戦が終わり、多様な世界がグローバリゼーションによって「アメリカ化」するかと思われました。しかし、21世紀に入って、反グローバリゼーションの動きが強まっています。グローバリゼーション（統合）と反グローバリゼーション（分裂）をキーワードにして、世界の現状を政治・経済・文化・宗教等の多様な視点で学びます。常に、世界の中の日本を意識して国際情勢の解説や他国との比較を行います。以上によって、国際的な教養だけでなく、異文化や異なる政治的立場の間での「対話」ができる論理的な思考力、コミュニケーション能力を身に付け、政治や日本を論じられる社会人となることを目指します。自然科学と異なり、正解のないのが社会科学ですが、学習によって以上の成果が期待できます。

【授業内容】

1. 世界の多様性（1）
2. 世界の多様性（2）
3. グローバリゼーション（1）経済
4. グローバリゼーション（2）文化
5. グローバリゼーション（3）環境
6. 反グローバリゼーション（1）民族・人種
7. 反グローバリゼーション（2）宗教
8. 反グローバリゼーション（3）経済・文化
9. アメリカ一極支配は終わるか
10. 民主主義の危機
11. 食で見る世界
12. スポーツで見る世界
13. 戦争と平和
14. 数字で見る世界

【成績評価方法】

5回の小テスト（予告なし）で評価します。合計10点満点で5点以上が合格の目安です。

毎回（小テスト実施回を除く）の受講投稿の優れたものは加点します。投稿（質問）へのフィードバック（回答）は次回の講義で行います。

【教科書】

指定しません。

【参考書、教材等】

中西寛『国際政治とは何か』中央公論新社

ジョセフ・ナイ『国際紛争』有斐閣

ロスリング『FACTFULNESS』日経BP

※ この授業は、4/20（木）が初回です。